「やれば、できる！」

校長　　安藤　徹

２月があっという間に過ぎ去り、気がつくと今日から３月・・

卒業生の皆さんには今回が最後の「校長だより」になります。４月からの新しい生活、最初は緊張するでしょうが、ぜひ大いに楽しんでください。そして、何事にも前向きにチャレンジしていってください。ただ、そうしたチャレンジをしていく中で、必ずしも成功するとは限りません。むしろ失敗することの方が多いかもしれません。

しかし、そうした失敗を重ねる中で、人は成長していくのです。失敗をそのままにしておいたら本当の「失敗」、失敗を「なぜ失敗したのだろう」と考え、何度も努力を重ねていったら、それは「経験」に変わっていきます。皆さんにはぜひ失敗することを恥ずかしいとか、格好悪いとか思わず何事にもチャレンジし、失敗から多くのことを学んで経験に変えていってほしいと思います。

これまで始業式や終業式などで全校生徒のみなさんにいつも伝えてきた言葉、覚えていますか？

そうです。「やれば、できる！」という言葉ですね。

この言葉は多くの人が知っていると思います。ティモンディというお笑いコンビの高岸宏行さんのキャッチフレーズのような言葉ですが、実は彼の出身校である愛媛県にある私立済美高等学校の校訓だということです。

「やればできる！」・・そう言っているティモンディの高岸宏行さんのすがたを見るとそしてあの言葉を聞くといつも私たちは元気や勇気をもらえるような気がしませんか。

しかし、以前ＮＨＫの特集番組で高岸さん自らが「やればできる」という言葉は「やれば成功できる」という意味ではないと説明されていました。「やればうまくいく・成功する」ということではなく「やれば成長できる」ということです。成功は目標かもしれませんが、一番の目的は成長です。そのことを知り、この言葉の持つ意味はさらにとても深いなと感じました。

現実的には、何事も「やらなきゃできない！」だと思います。勇気を振り絞って一歩踏み出してみましょう。やってみて実際に体験したことが、成功体験につながります。失敗を恐れてなかなか始められない人、失敗したくない気持ちもよくわかります。「成功」の反対は「失敗」でなく、「やらない」ことです。

岩戸支援学校を卒業する３年生のみなさんも、１年生２年生のみなさんもこれからまだまだ心身ともに成長していけると思います。どんな時もこれからのみなさんの大きな成長を期待しています。

『卒業、おめでとう』

令和７年３月１日

～1年間岩戸支援学校ホーム・ページ、管理職だよりをご覧いただきありがとうございました～